

新卒採用の歴史についての豆知識



セコム訪問看護ステーションは、2006年から新卒看護師の採用を始めました。当時は、病院で経験を積んでから訪問看護へとステップを進めるのが当たり前だった時代。今回は、セコムの新卒看護師採用の歴史についてのお話です。



セコムが2006年から新卒看護師の採用を始めていたなんて、初めて知りました。なぜ、新卒看護師の採用を始めたのですか？



きっかけは、「訪問看護」という専門領域のプロは、その領域で育てたいと考えたことでした。また、卒業時にあった「訪問看護をやってみよう」という気持ちや意志が、病院での勤務や結婚・出産等のライフイベントを経て薄れてしまうのがもったいないと感じて、すぐに行動に移してほしいという思いもありました。こうして、2006年4月より新卒訪問看護師の育成を始めました。



なるほど。でも、新卒から訪問看護師になることはとてもハードルが高いように感じます。



一歩ずつ、着実にステップアップしていけるよう、3年間の「Step by Stepプログラム」で一人前の訪問看護師を目指していきます。また、専任の育成担当が皆さんの目標を確認しながら成長をサポートします。もちろん配属先でも、所長を含め、みんなが応援・フォローしていきますよ！



現場でのフォローだけではなく、専任の育成担当の方々がいてサポートをしてもらえるのは、とても安心できますね。



実際に入社した先輩方は、どんなキャリアを積んでいますか？



3年間の育成プログラムでひとつずつステップを踏み、今は副所長として活躍しているスタッフがいいます。また、結婚・出産を経験し、育児休業を経て復帰したスタッフもいます。ひとりひとり様々なキャリアアップ・ライフスタイル実現の方法がありますし、新卒で入社して、地域で活躍している先輩がたくさんいますよ。



実際に活躍している先輩がたくさんいるのは、すごく心強いですね！